

テーマ

# 施設に暮らす子どもたち

お話しして下さる方 **水木 理恵さん(臨床心理士)**

期日 **2017年 1月 22日(日) 午後2時～4時半**

会場 **日本教育会館 2階 東京教組会議室**

都営新宿線・三田線 メトロ半蔵門線 神保町駅下車4分 JR 水道橋下車 15分

参加費 **1000円**

今年度は参加者の希望でテーマを設定しています。今回は養護施設から学校に通う子どものケアや、施設や児童相談所の実態などについて学びます。

幼い時期に親と別れるということは子どもの成長にどんな影響があるのでしょうか。親でなくとも愛情を注いでくれる大人がいれば大きな躓きとはならないのですが。実際のケースで「一度養護施設に預けた子どもがのちに引き取られ、転校してきたその子の状況があまりに荒んでおり大変な学級運営をした」「ケース会議が3月も遅れ子どもの状況を把握せずまた転校した」など、施設から学校に通う子どもとの向き合い方に戸惑うことも多いと思います。

そこで今回は社会福祉法人「子どもの虐待防止センター」で「アタッチメント形成のための心理療法プログラム」スタッフとして子どもたちやその保護者と関わっておられる水木さんにお話を伺います。児童養護施設で暮らす子どもたちの抱える問題や、施設や児童相談所の状況をお聞きします。そして学校に通ってくる子どもたちにどんな配慮をして受け入れればよいのか共に考えましょう。

養護施設で暮らす子どもたちは18歳になれば否が応でも施設を出なければならないとも聞いています。勉強を続けたくともその機会は少ないのでしょうか。施設を出た子どもたちに対する行政の支援や、私たちにできることはあるのでしょうか。



今回は日曜日開催となりました。お間違えのないようにお願いします。

地域で頑張っている女性や、もちろん男性も、保護者の方にも声をかけ、ぜひ多くの方の参加をお願いいたします。

<主催> 子どもと女性の人権を考える東京の会

<事務局> 東京教組女性部・青年部 ☎03-5276-1311